

西風新都における超小型モビリティ実証実験

モニターアンケート調査

単純集計結果（速報）

※全65モニターのうち、40モニターでの結果

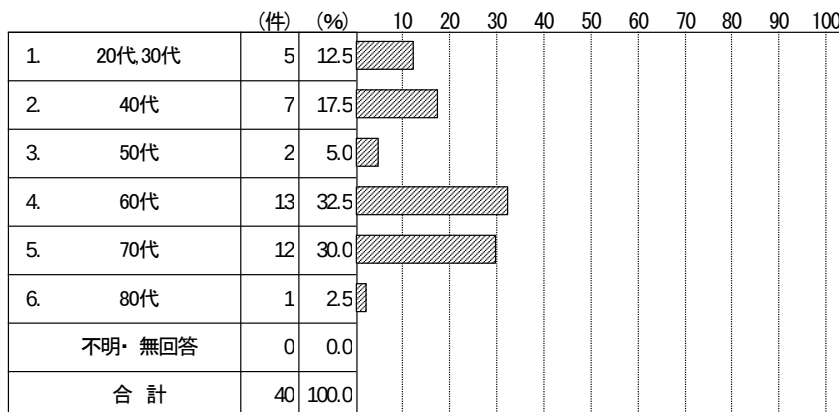
		[ページ]
【調査票の種類別に整理】	A：事前調査……………	1
	B：利用内容調査……………	7
	C：事後調査……………	10

平成 26 年 12 月 24 日

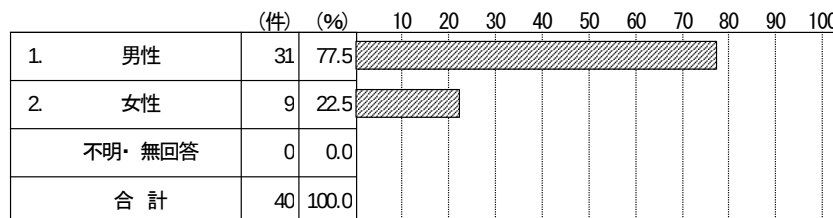
調査A: 事前調査

1. 回答者の属性

(1)年齢



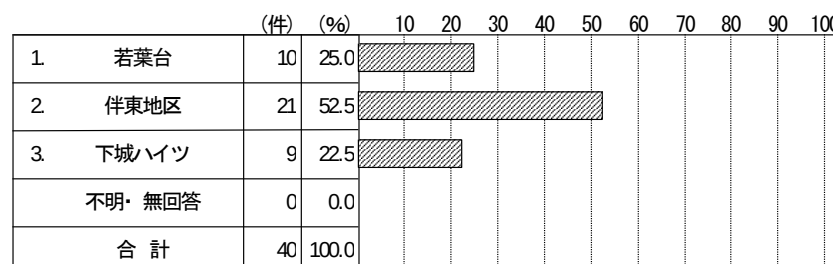
(2)性別



(3)職業

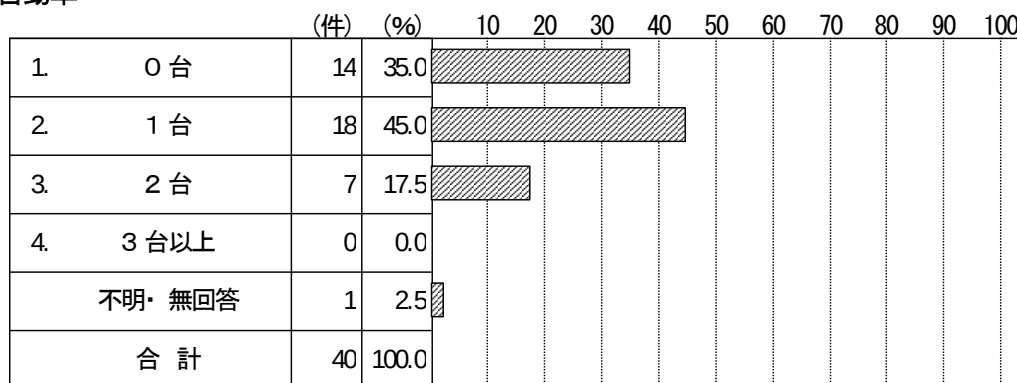


(4)居住地区

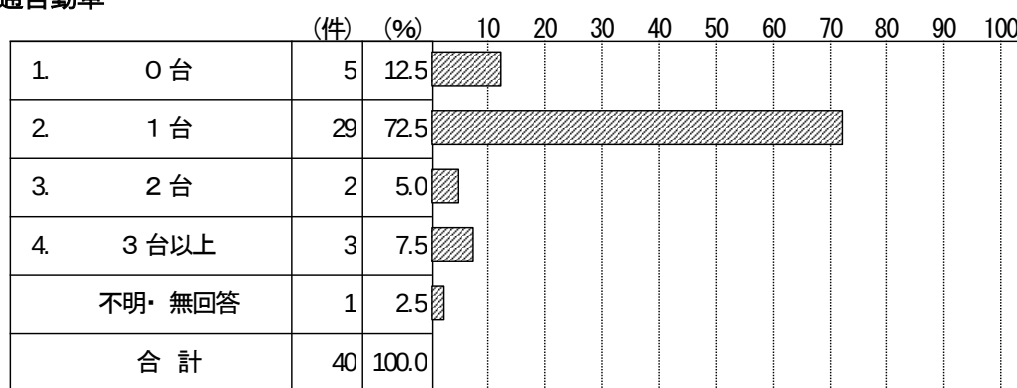


(5) 世帯の自動車・バイクの保有台数

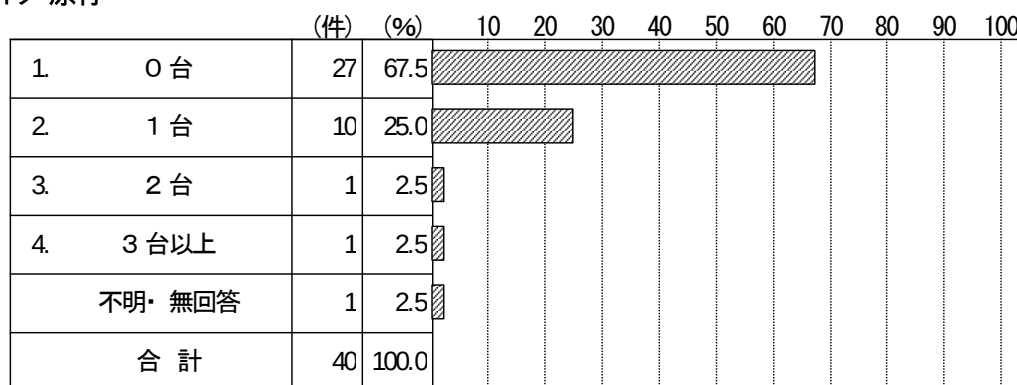
①軽自動車



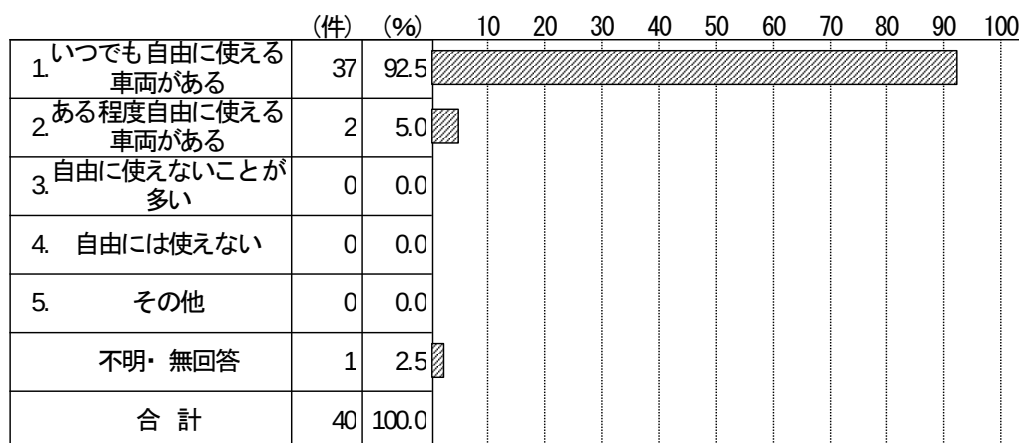
②普通自動車



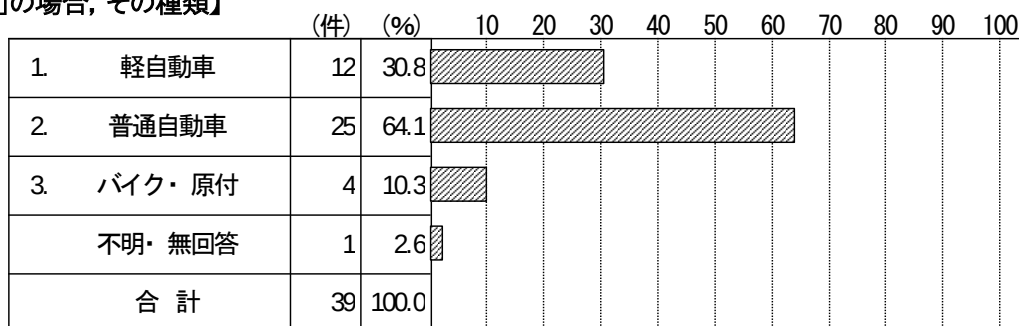
③バイク・原付



(6) 自由に使える自動車・バイクの保有

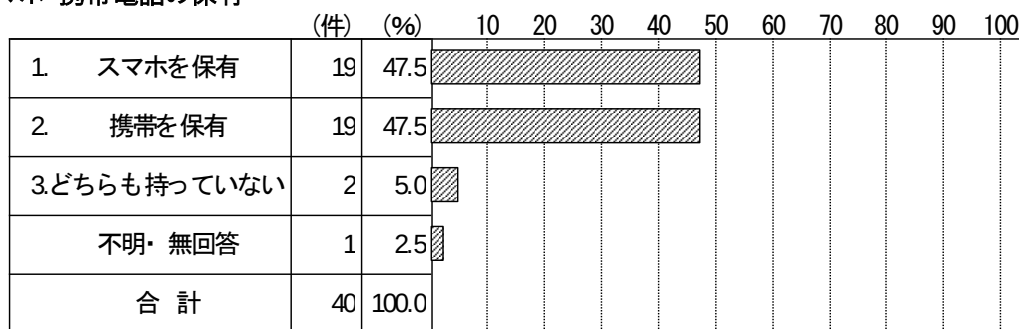


【「1, 2」の場合, その種類】



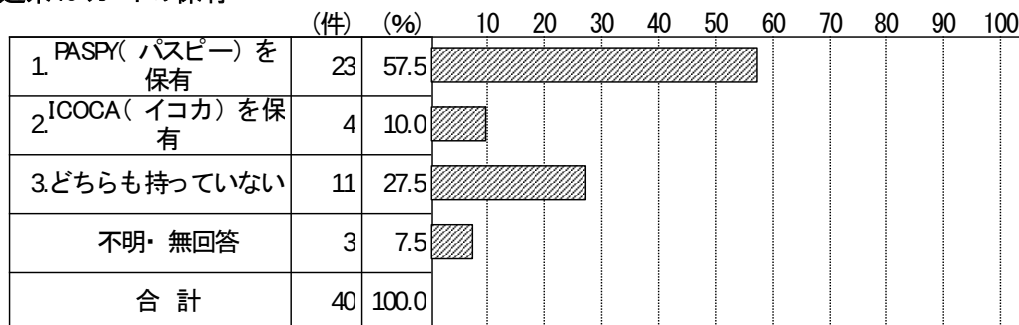
※複数回答

(7) スマホ・携帯電話の保有



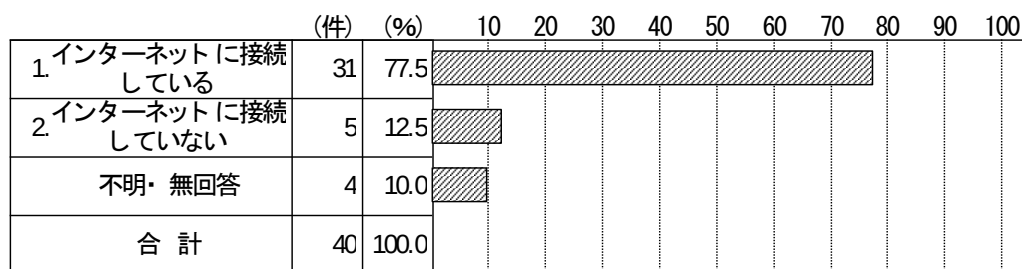
※複数回答

(8) 交通系 IC カードの保有



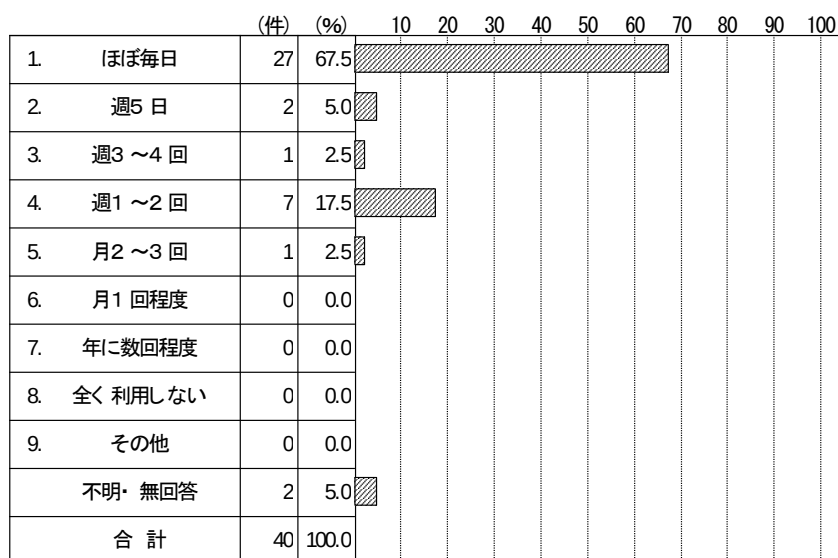
※複数回答

(9) 自宅のインターネットの状況

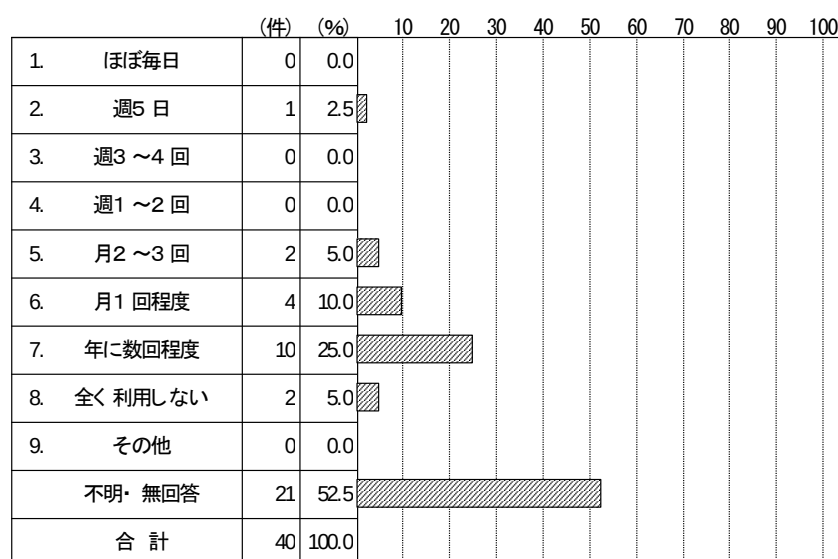


(10) 普段の外出で利用する交通手段

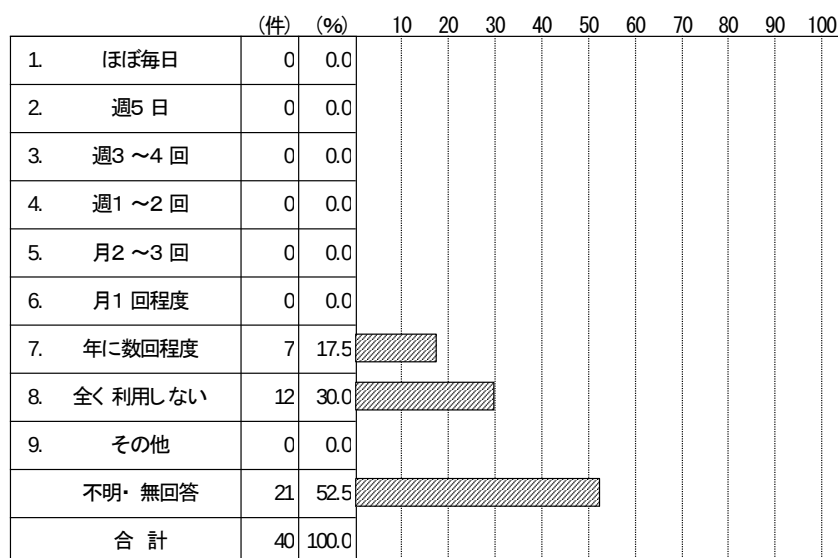
①車(自分で運転する)



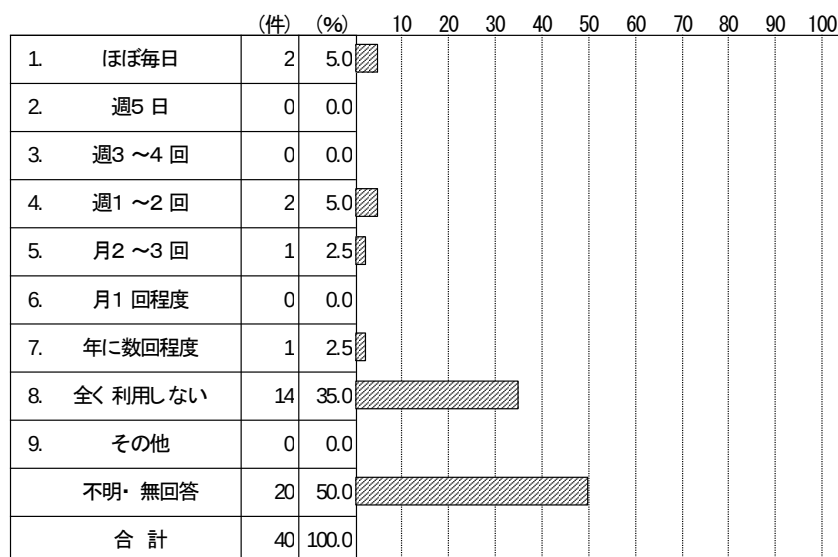
②車(家族に送迎してもらう)



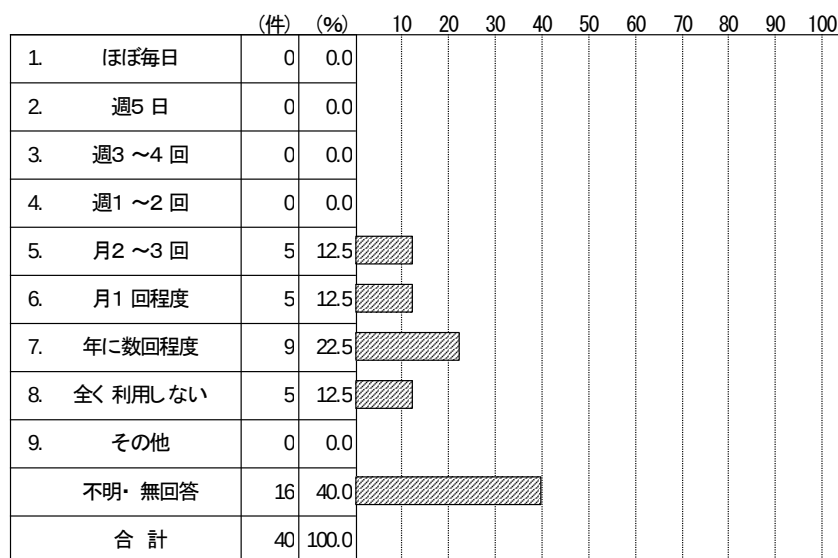
③車(近所・知人に送迎してもらう)



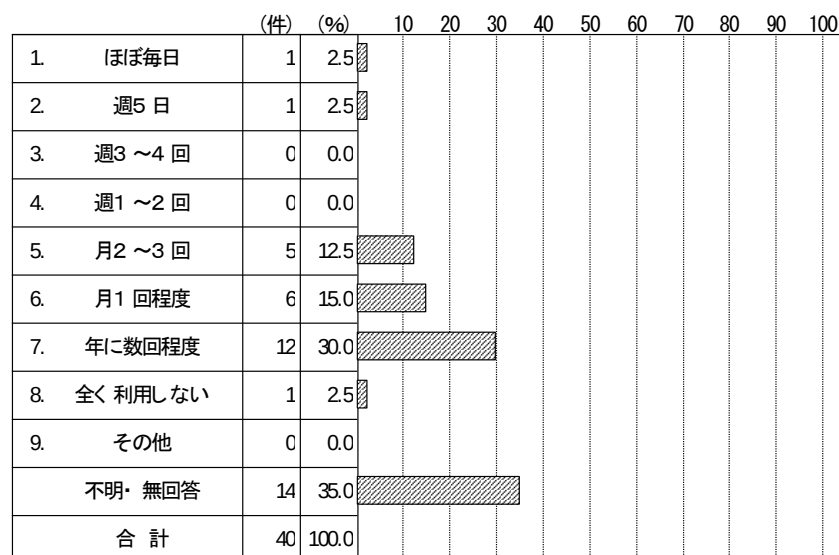
④バイク・原付



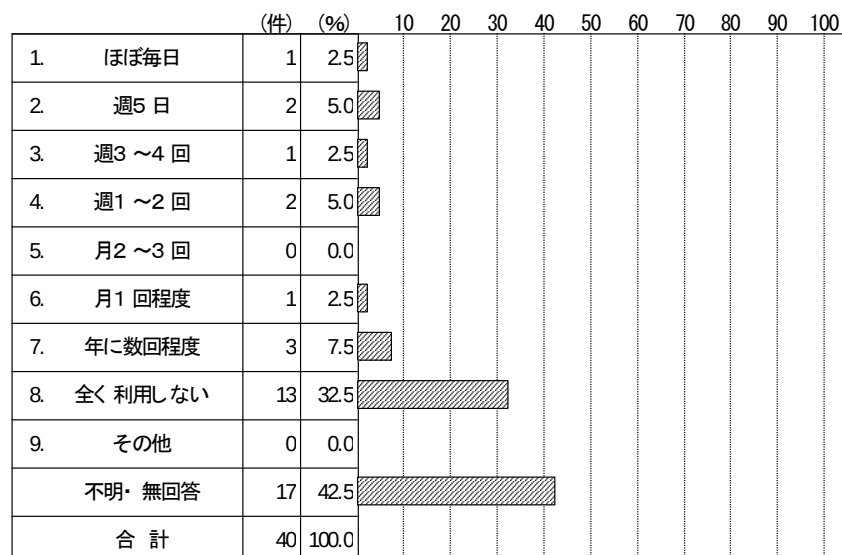
⑤路線バス



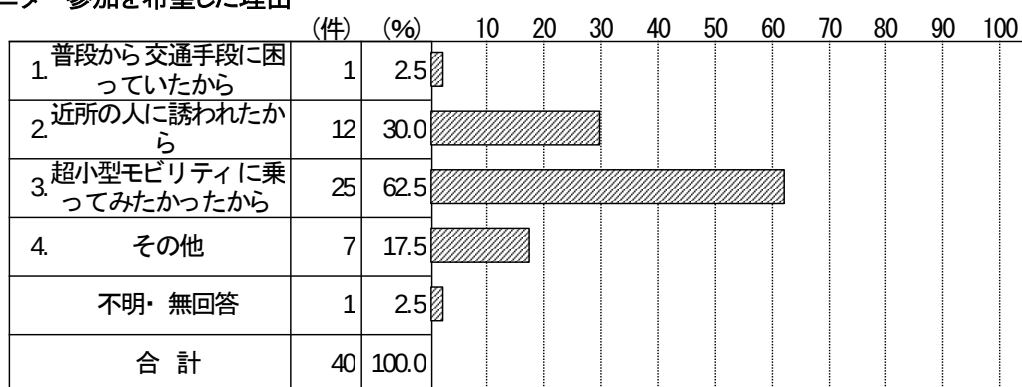
⑥アストラムライン



⑦自転車



(11) モニター参加を希望した理由



※複数回答

【「1」の場合、困っている内容】

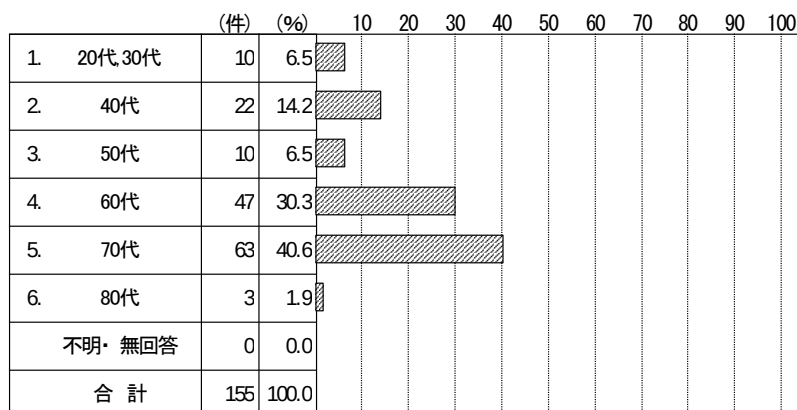
- 車は維持費が高く、台数を減らしたい。(現在は軽1, 普1, バイク1⇒軽0, 普通1, バイク0, モビリティ1)。近くはモビリティ, 遠くは普通車を利用。

調査B:利用内容調査

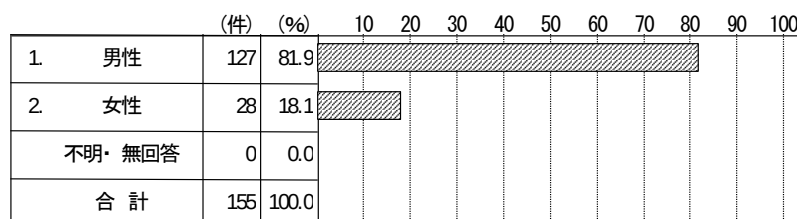
※「調査 B」は、超小型モビリティを利用した際の行動内容を把握する調査である。よって、合計の「155」は総利用回数を表す。

1. 利用者の属性

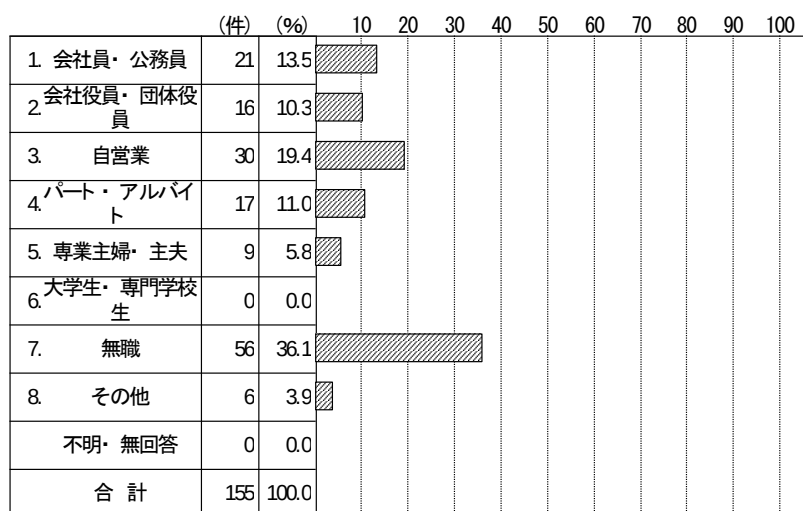
(1)年齢



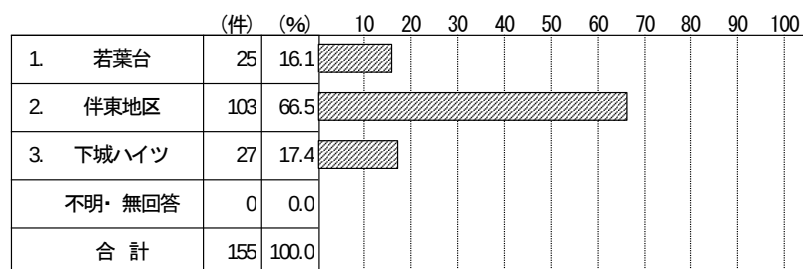
(2)性別



(3)職業

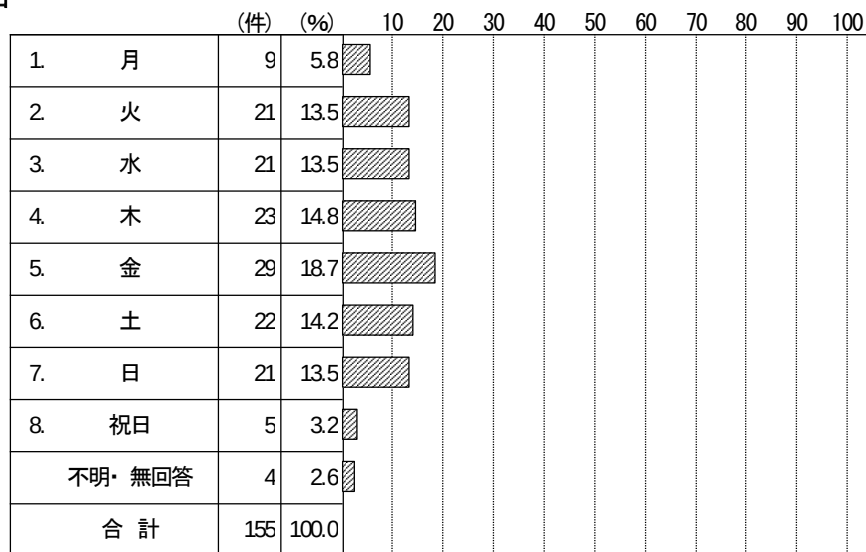


(4)居住地区

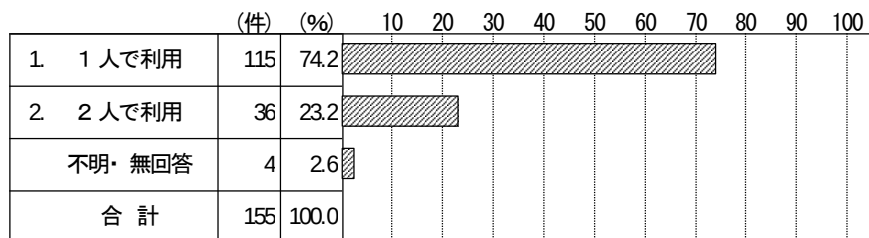


2. 超小型モビリティ利用の内容

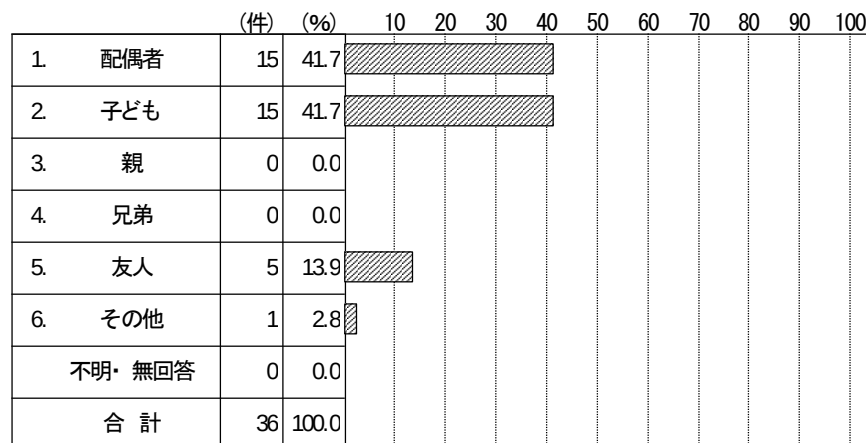
(1)利用した曜日



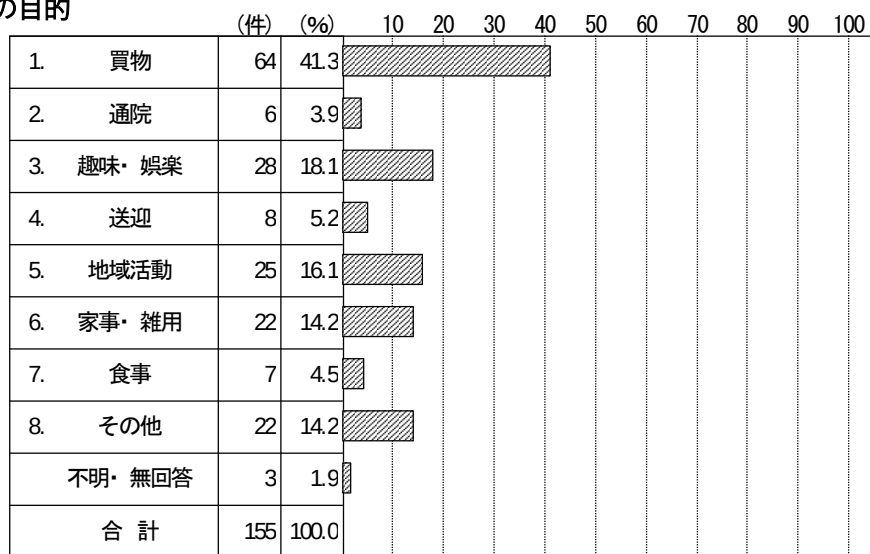
(2)乗車人数



【「2」の場合、同乗者の属性】

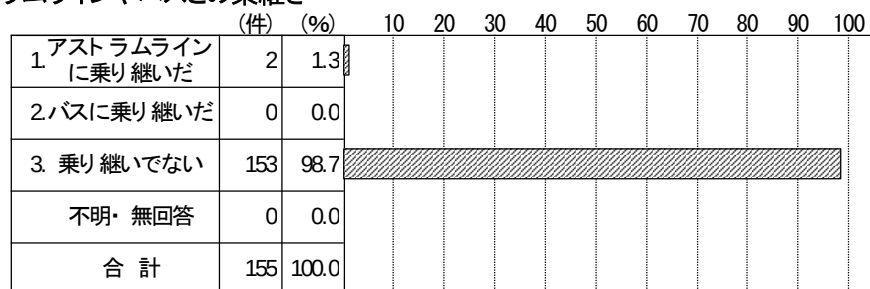


(3)行動の目的



※複数回答

(4)アストラムラインやバスとの乗継ぎ



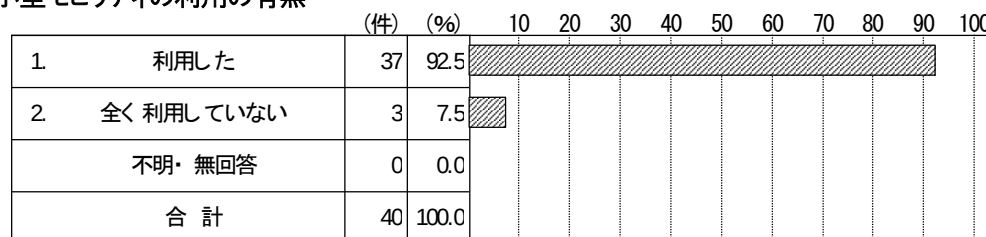
(5) 普段(超小型モビリティが利用できない場合)の交通手段



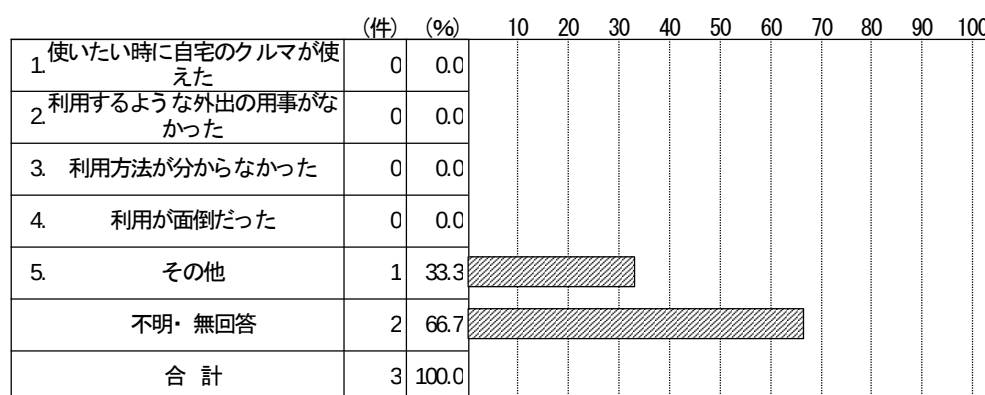
調査C:事後調査

1. 超小型モビリティの評価

(1)超小型モビリティの利用の有無

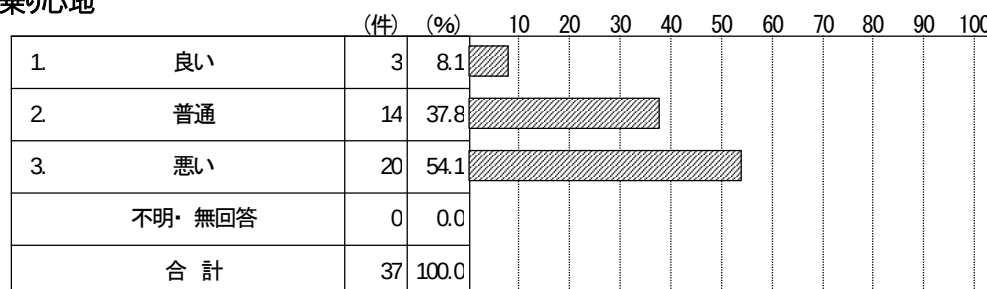


【「2」の場合、利用しなかった理由】

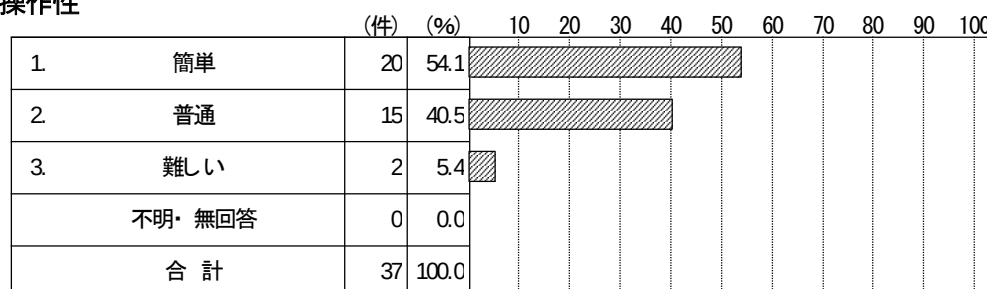


(2)「超小型モビリティ」を利用した評価

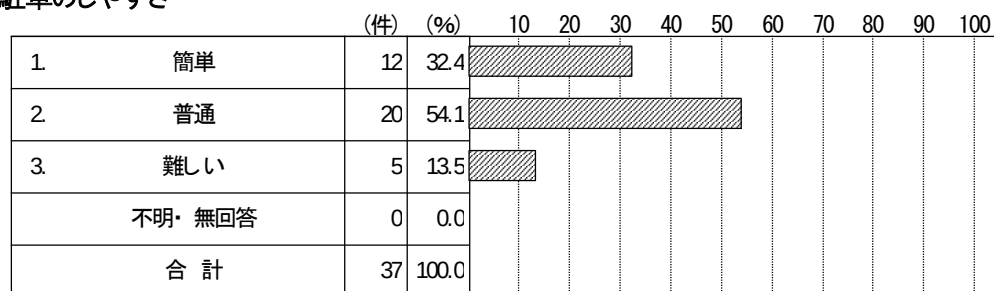
①乗り心地



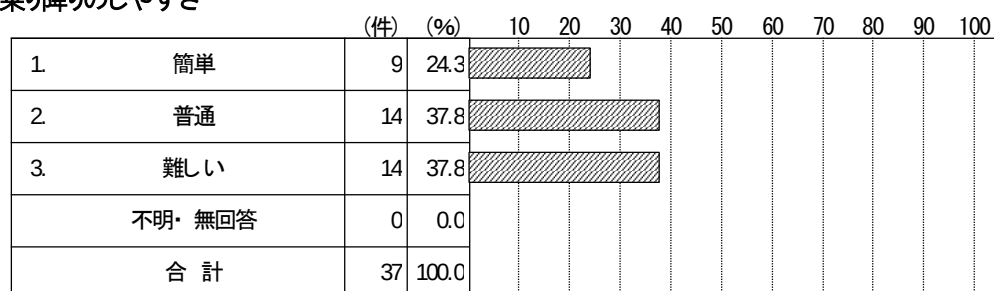
②操作性



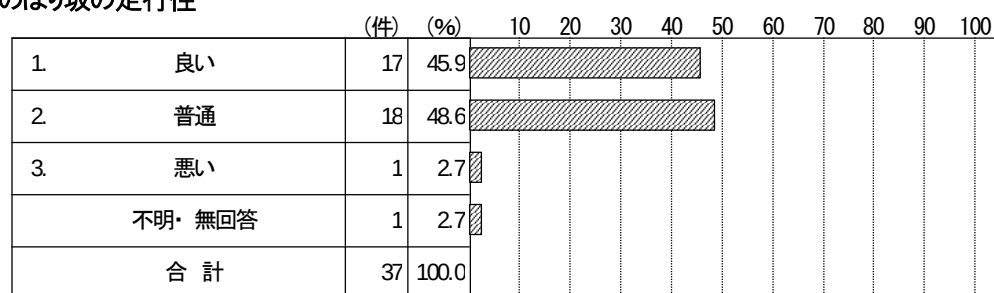
③駐車のしやすさ



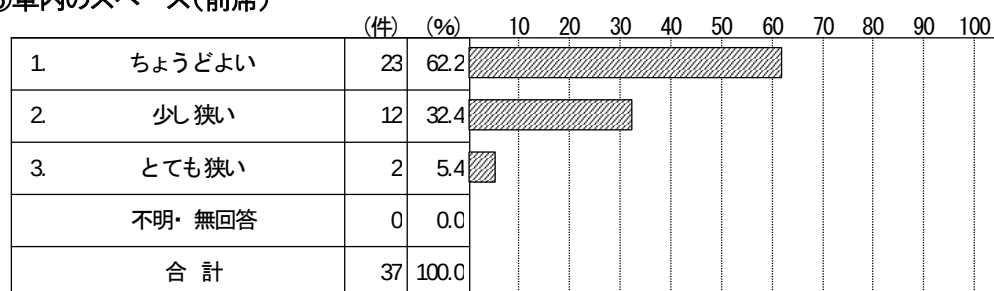
④乗り降りのしやすさ



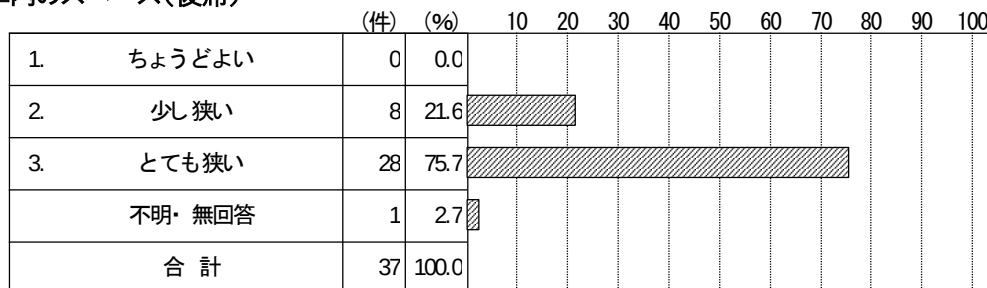
⑤のぼり坂の走行性



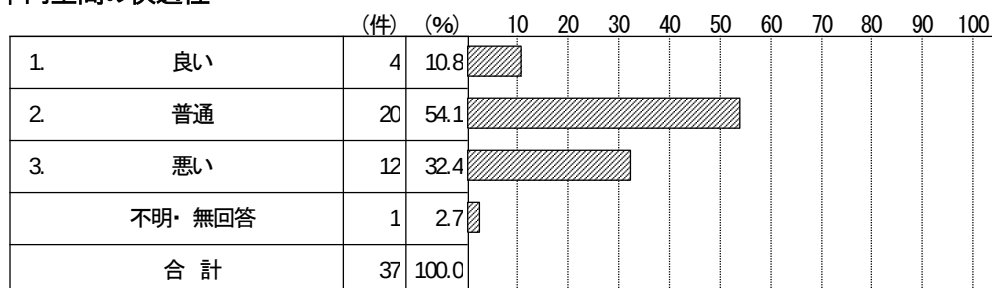
⑥車内のスペース(前席)



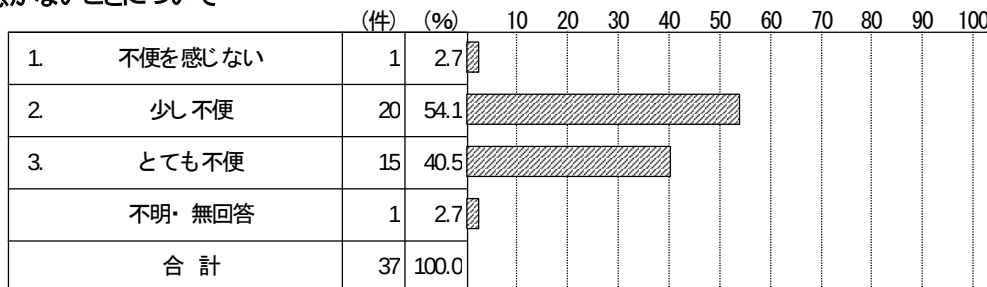
⑦車内のスペース(後席)



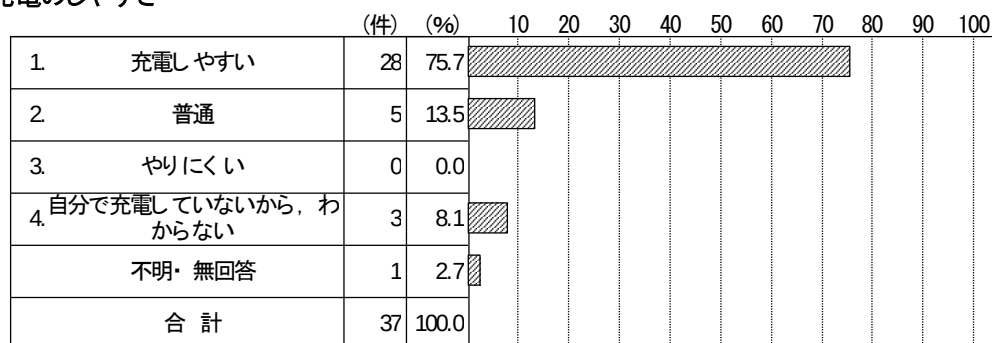
⑧車内空間の快適性



⑨窓がないことについて

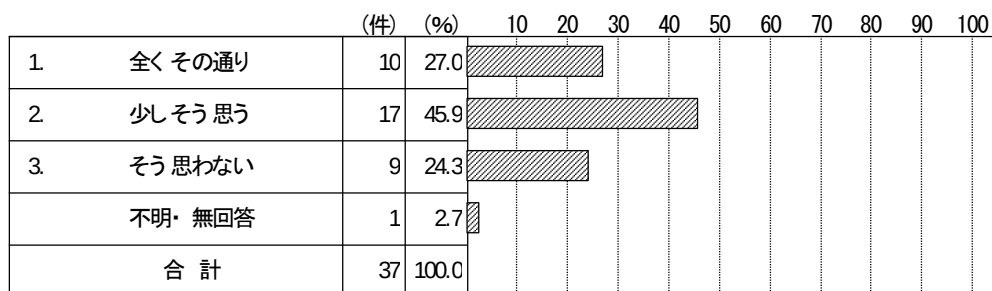


⑩充電のしやすさ

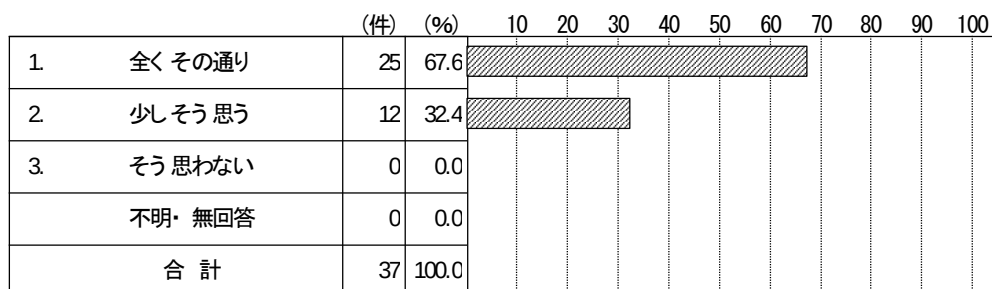


(3)普通車・軽自動車に比べた場合の超小型モビリティの評価

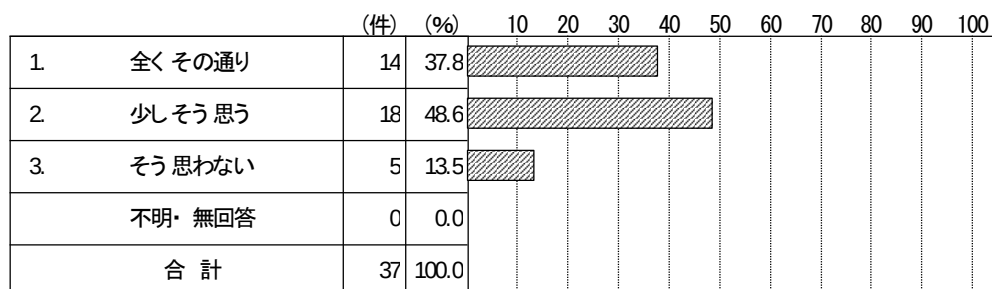
①運転が楽しい・気持ちいい



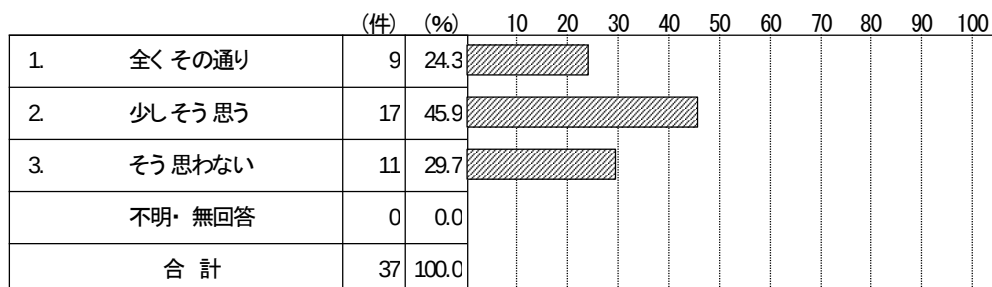
②普通車等よりも、狭い道で便利



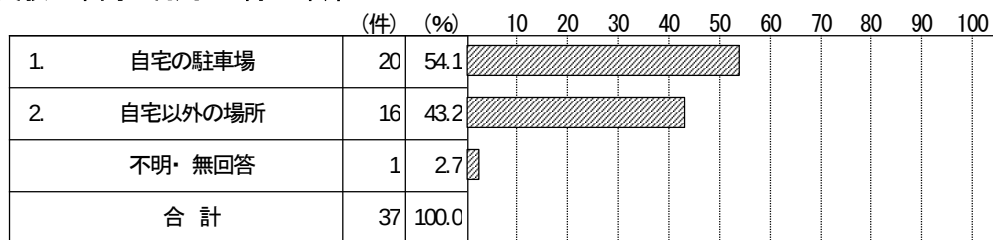
③普通車等よりも、気軽に使えそう



④できれば日常生活で利用したい

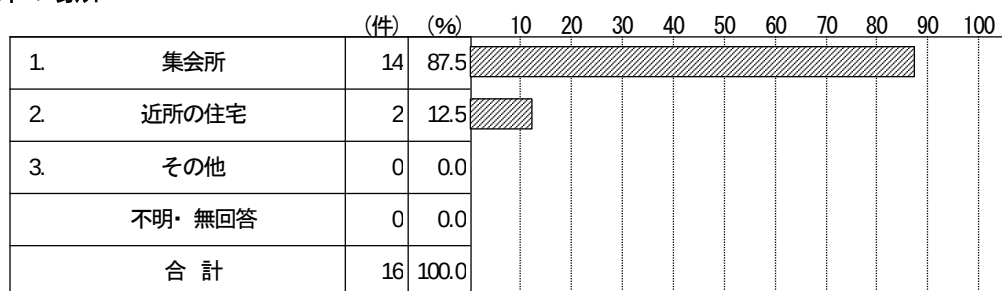


(4) 実験で車両を利用した際の車庫

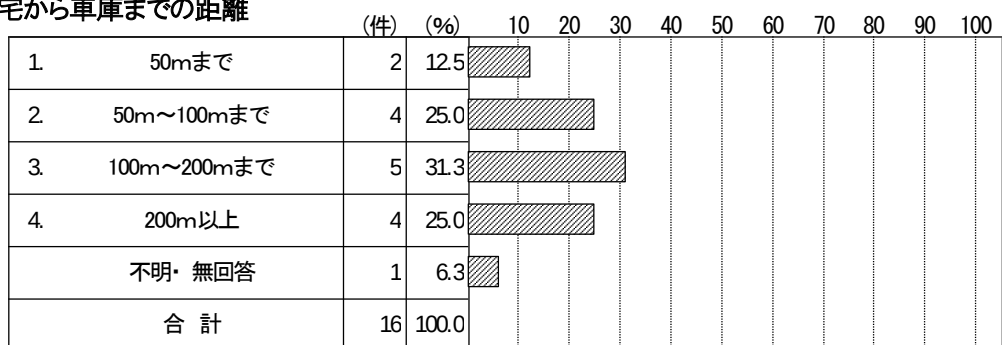


【「2」の自宅以外の場所の場合】

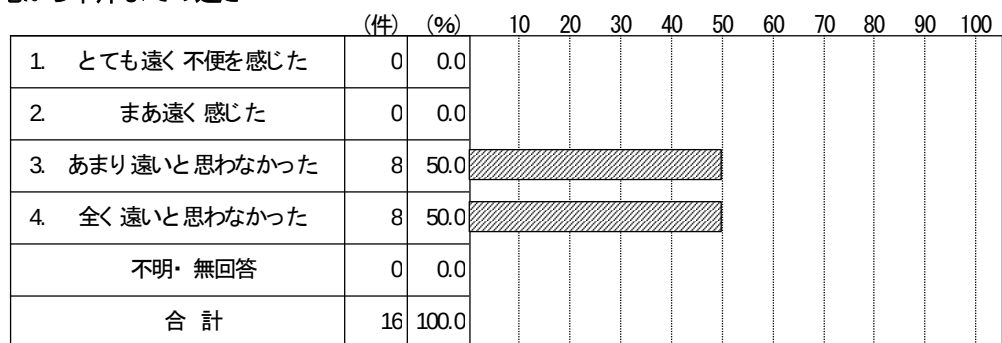
①車庫の場所



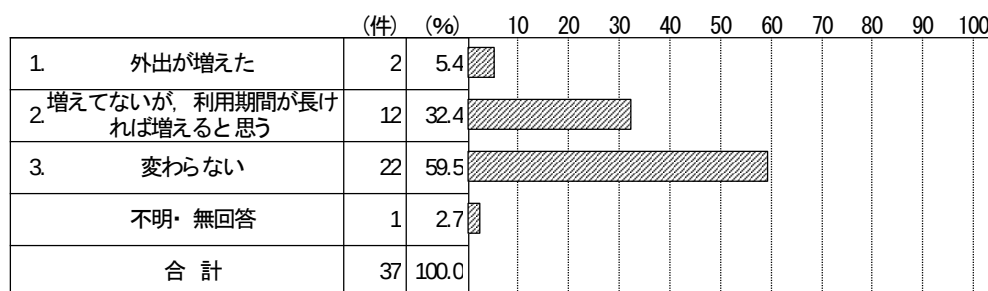
②自宅から車庫までの距離



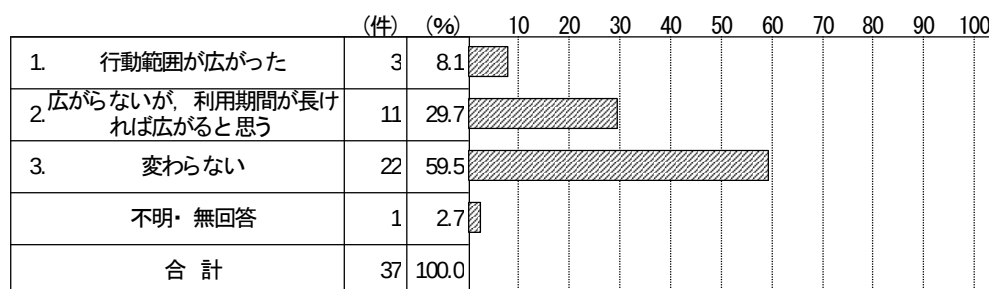
③自宅から車庫までの遠さ



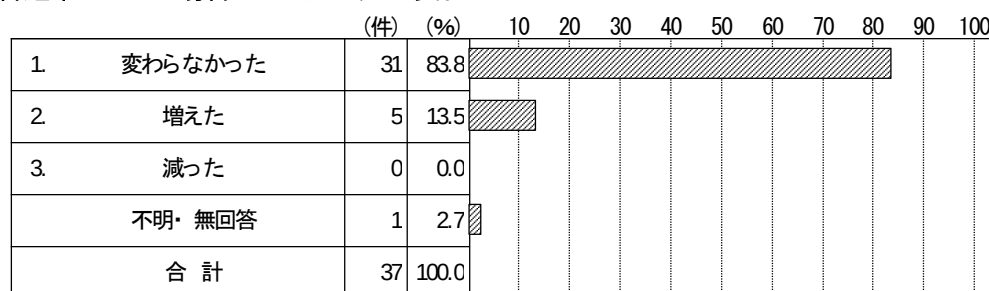
(5) 超小型モビリティ利用による外出する機会の変化



(6) 超小型モビリティ利用による行動範囲の変化



(7) 普通車に比べた場合のヒヤリ・ハットの変化

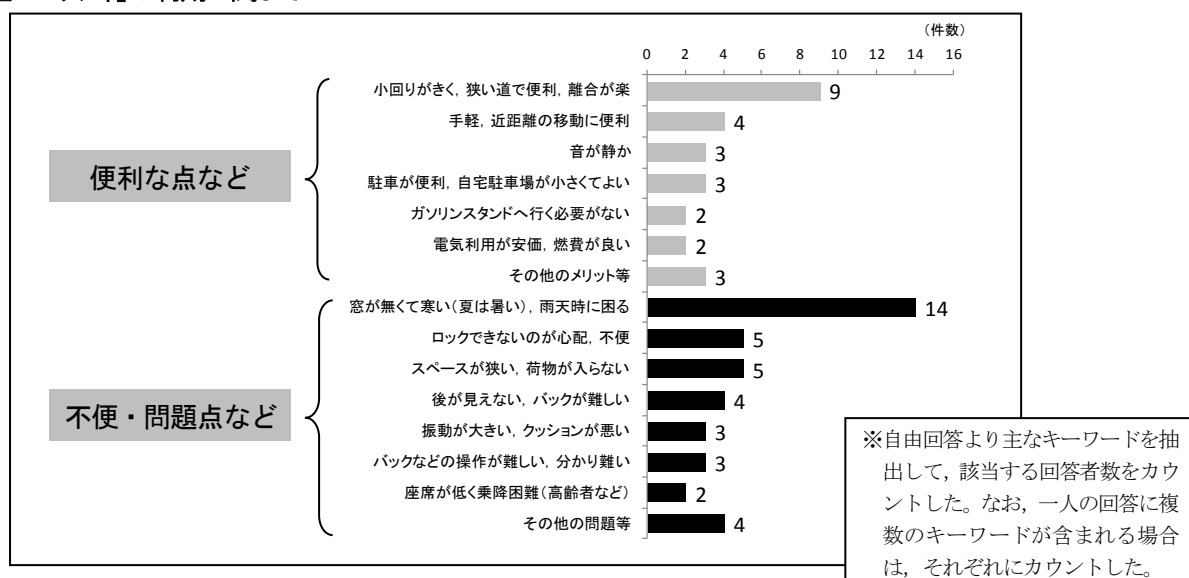


【「2」「3」の場合、増えた方・減った場合、その内容】

- 信号待ち時、前後に他車があった場合（特に上り坂）。大型車が接近してきた場合。
- バックする際、後輪が見えない為、柱にタイヤが当たった。
- 棒状のゴミを踏んだ時に、ボディからタイヤが出ているせいか、跳ね上がった。
- ウィンカー操作・バック感覚など慣れが必要。
- バックで運転した後、前進に切り換えたつもりが切り換わっておらず、後に動いてハットした。（2回あり）

(8) 超小型モビリティを利用して、便利だったこと、問題に感じること(自由回答)

①「超小型モビリティ」の利用に関して



【具体的な意見】

ア)若葉台

- 駅にスペースがあって便利でした。小回りもきくしいけど、荷物が入らないのが問題。後の席の方が風も入って寒いようです。
- 窓ガラスは必要だと思う。冬は寒い。
- ちょっとコンビニまで、とか近距離には便利。振動がすごくて、長距離乗るには少し疲れる。後に乗っていた娘(小学生)も、最後は「少し酔った」と言っていた。
- 寒い時期には利用しにくい(寒い)。ドアが密閉されなければ冬季は利用できない。欲を言えば冷暖房があれば良い。・・・車として見たら。
- 鍵をかけなくていいので、乗り降りが便利でした。狭い所でも気軽に行けるのが便利。窓が無いので寒かったです。
- 未就学児の子供が居るので、一緒に乗車する事ができず(チャイルドシート不可な為)、出かける機会としては少なかった。窓が無いので寒い、濡れてしまう。
- 窓がない→特にこの時期は寒い。少しだけ雨に濡れる。
- 天候にやや影響を受ける寒い日はつらい。子供達が成長し通学や通勤には良いと思う。又、充電時間のわりに長距離走れると思った。燃費?も安い!
- 駐車スペースを取らず便利。ガソリン代が高い今、電気で助かる。問題と感ずることは急な雨で焦ったのと寒いので冬の利用は厳しい。

イ)伴東地区

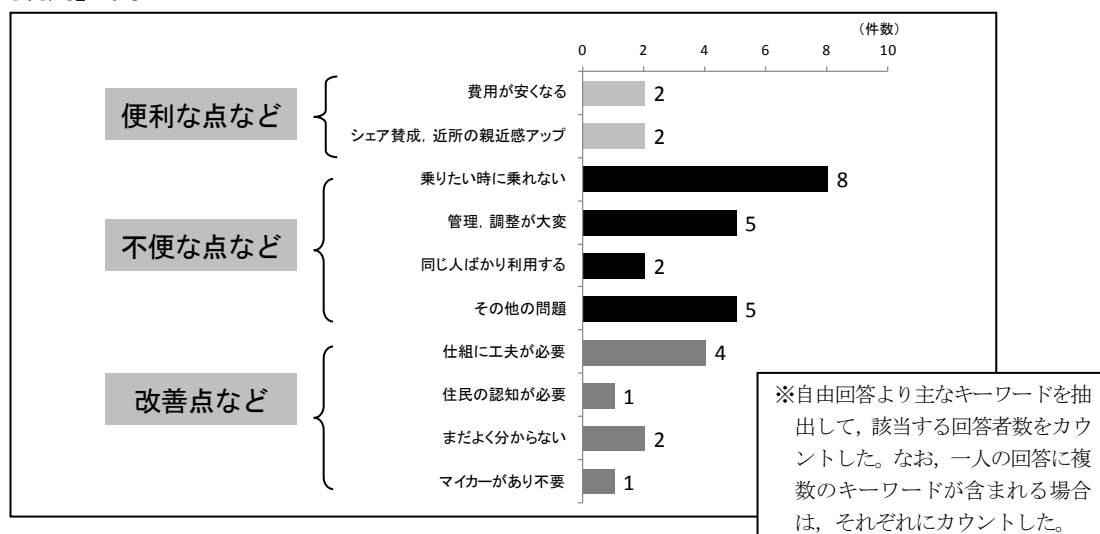
- 小回りが効いて運転は楽だった。音も静かでよかった。窓ガラスがなく車にロックができないのが少し心配だった。
- 小回りが良く狭い道も通行出来たし、カーブも簡単だった。始めはバックの感覚が少し分かりにくかった。

- 前進、後退の切り換えが分かりやすくなったらよい。便利：手軽に乗れる。買物、通院とかに最適。
- 小回りが便利。二人乗りの時、荷物の置き場所がない。
- エンジン音などがなくて、夜間使用する際、近隣者に遠慮しなくてよい。
- 座席位置が低い為、乗り降りが困難。長寿者を同乗させる事は不可能。駐車スペースが小さく位置取りが楽。
- バックする時に後が見える様にしてもらいたい。後部座席に後から荷物が入る様にするとよい。
- 小回りや乗り心地が良く、「つい、外出して見たくなる」様に感じた。大変、楽しい思いであった。夜、利用の際、暗いのでキーを差し込むのが難しい（室内に電灯が無いので困った）。窓や、ドアキーがないので通常の車の事を考えると違和感があった。反面、開放感があり、安全性を感じた。
- ガソリンスタンドに行かなくて良い
- 便利な点→小型なので、車の離合が楽。音が静か（歩行者が気づかない点もある）。問題→クッションが悪い。サイドブレーキ解除が難しい。窓ガラスがないので車の中に貴重品が置けない。寒い。雨が困る。
- 便利だった事は、車体が小さいので、車同士がすれ違う時、スペースが充分確保できる。不便は、窓が無いので雨が降ると乗れない。
- ガソリンスタンドに行かなくてもよいのが良い。家庭で充電できる。車検とか、故障の際の修理・メンテについてすぐに対応出来るか要検討事項。
- 小型なので、自宅駐車場スペースが狭小ですむのが便利。「R」シフトの時、国産車の様にチャイムが鳴れば便利。「R」を押す度に、メーター横の「R」表示を確認するのは面倒。
- 使用地域の制限で通常の生活場所（買い物等）に行けなかったため、使用回数が少なかった。使用地域の制限が有る場合は使いづらいと思う。
- 駐車場：現状では普通車と同じ扱いである。せめてバイクと同じ扱いで駐車できるようにできないか（小型の長所を生かすために）。
- バックする時、真裏（うしろ）が見えず不安。音が（外）静かで歩行者が気づくのが遅れる時がある。（携帯を見ながら歩行者、脇見歩行者等）
- 雨の日、寒さ対策が必要と思う。小型なので小回りが良い。荷物の保管場所がない。

ウ)下城ハイツ

- 買物のあと、車から離れられないので不便
- 配達（お知らせ等）に大変便利である。
- クッションが悪い、冬は寒い、夏は暑い。
- 寒い日雨天の日に後に乗るのは困る。バックをする時に後が見えにくい。
- 1店で買い物して次の店に行った時、窓がないから前の買い物をモビリティの中に置いて行けない。
- ①窓がないので雨天時が心配②キーロックが無いので駐車時に心配③後部座席は高齢者は乗りにくい④複数箇所での買い物をしたら、先買った品物を車両に置く時、心配である
- 後部座席のスペースが狭いと思う。

②「車両の共同利用」に関して



【具体的な意見】

ア)若葉台

- 共同の人数が多いほど使いづらい。管理するのも（鍵や車両を）。
- 通勤に使用するのであれば、共同は難しいと思う。
- 使いたい時間が重なると気を使う。駐車場も住宅だと乗る時間、帰ってくる時間を気にしてしまう。
- 共同利用できれば良いと思いますが、同じ人ばかり利用する可能性があるので工夫が必要だと思います。
- 利用時間の調整や充電の問題などが患いかも。
- 難しいと思う。

イ)伴東地区

- 共同利用は自分が利用したい時に乗れない事もあると思うので、ちょっと不便ではないかと思う。
- 全く問題なしだが、サイドブレーキが戻らない等、問題があった。
- 期間限定で共同利用するのは良い。
- 地域にもっと認知されれば、利用効率も上がり、便利になると思う。
- 確実な引継ぎ、引き渡しが難しい。
- また、自分の持車があり、共同利用の必要はない。
- また、個々で行き先が異なり、多くの方にPRできると思った。「共同利用」は町は老人化しており、シェア的な感じで大変良いと思った。行き先によっては、レンタル的な考えで、行きは乗り捨て可能で、帰りは別な交通機関を使うような方法。
- 問題→乗りたい時に乗れない。 便利→1個人の負担が少ない。
- 共同利用の問題は、好きな時に自分が使えないもどかしさ。
- 共同であると、自由に利用出来ない。
- 共同利用の場合、車の管理（点検・整備等）が確実に実施されて、安全が確保できるか？
- どの様な使用制限があるのか分からないので？
- ・賛成である（費用が安くてすむ）・問題点（利用時間の調整方法）

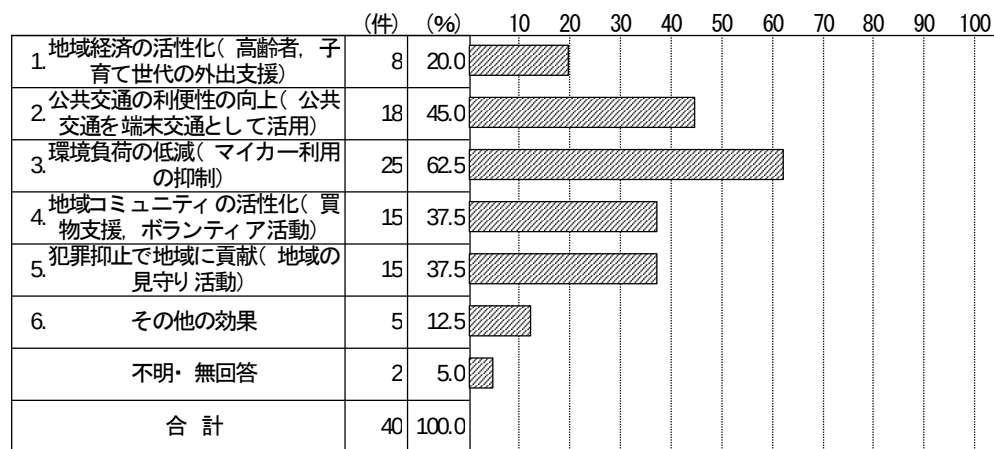
- 今回の共同利用は日ごとで担当利用した為、不便はない。今後の共同利用に関しては方向性が不明で意見なし。
- 共同で駐車する場所の確保とそこまでの距離 50m 以内。

ウ)下城ハイツ

- 自分の思ったときに利用できないので不便。
- 日程（使う日）が重なる時、いつも同じ人が我慢する。ずうずうしい者は遠慮がない。
- 近隣同士で利用するのは親近感が湧く。
- 自分が乗りたい時に乗れない場合がある。

2. 超小型モビリティへの期待

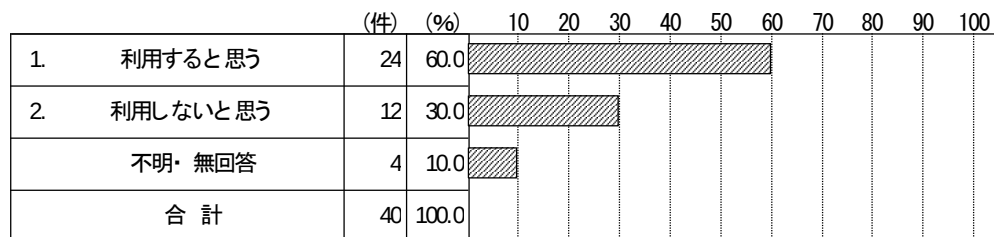
(1) 超小型モビリティに期待する効果



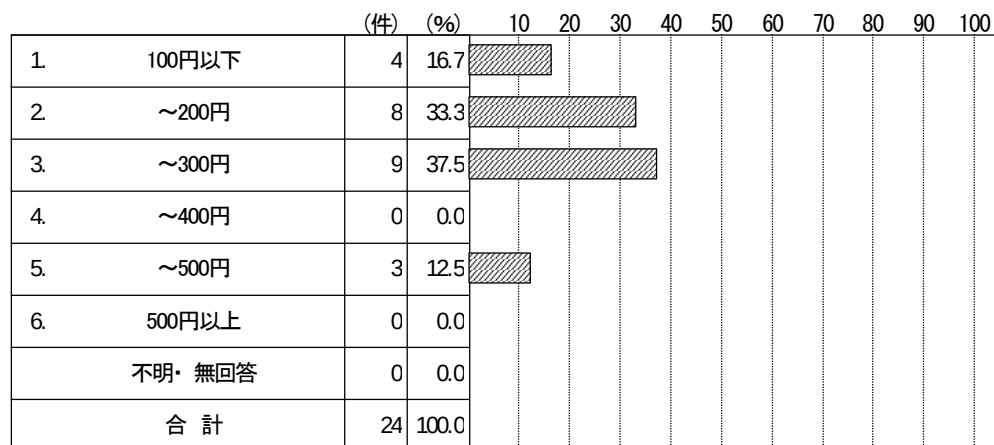
※複数回答

(2) 超小型モビリティの共同利用について

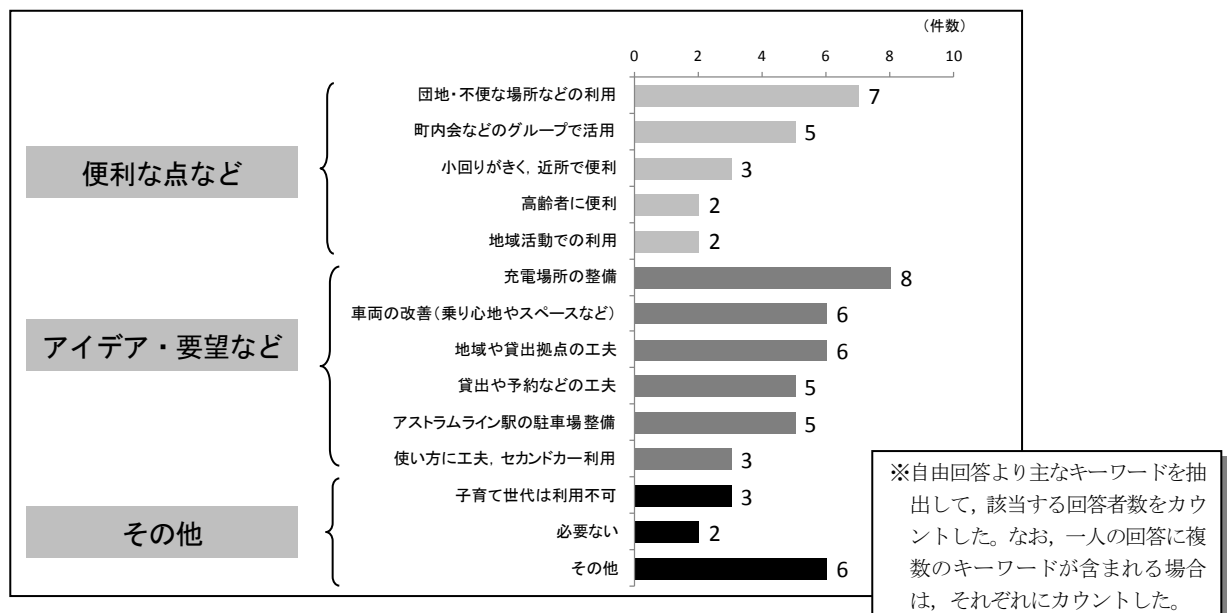
①導入された場合の利用意向



②利用する場合、支払ってよい料金(1回あたり)



(3)地域の暮らしの中でどのように利用すれば、超小型モビリティの活用が進むと思うか(自由回答)



【具体的な意見】

ア)若葉台

- 大きい車両の横などは怖いので街中よりも不便なところならあってもいいのかもしれない。
- 車両が入りにくい住宅街、団地内での利用に適していると思う。Uターンなど小回りがきくのは良かった。
- 高齢者の多い団地に良いのでは。子育て世代は、小さい子を乗せられないので、利用は少ないと思う。
- アストラムラインの駅近くに駐車場と充電施設を完備。
- 若葉台の場合、バスが210円（大原駅まで）ですので、費用は安くおさえないと利用が少ないかと思います。子育て世代のお母さん（祖父母も）には、子供が同伴できない乗り物は使えませんね。この点がもっと改善されれば、いいかなと思う点もあります。
- 一般の者が普段の生活で利用するには、未就学児の同乗ができない。快適性に欠けるなどの点から、活用しにくいと思う。又、広範囲の移動にも快適性に欠けることから活用しにくいと思う。だが、商業用として限られた範囲を1件ずつ回る郵便やメール便、新聞配達等に利用する事で、環境負荷の低減や狭い場所での移動、駐車スペースの縮小化などに活用できると思う。高齢者の狭い範囲内での移動などに利用する事で、地域コミュニティの活性化、生きがいの創出などにつながると思う。
- ・団地の拠点、生活の拠点（スーパー、銀行、病院、駅など）に駐車スペースを設けて、乗り捨て可能で運用する。・後部シートに希望者が気楽に乗れるような仕組みをつくる（高齢者が声を掛けたら、後に乗せてもらえる）。
- 駅や店などで気軽に充電ができ、雨ぐらいの天候などにも濡れにくい駐車スペースの確保などが多くなれば利用しやすいと思う。・高齢者利用には誤作動への安全面が必要。・バイクに比べるとやや安全な気がします。・冬用タイヤはどうなるのか？
- 使いたい時に使えた方がいいので地域の共同利用は無理だと思います。高齢者の利用は無理なのではないでしょうか（寒さ、雨、リクライニング無し、サスが悪い、後の席に座るのが大変など）。今回、乗ってみて、50代ギリギリな感じはしました。

イ)伴東地区

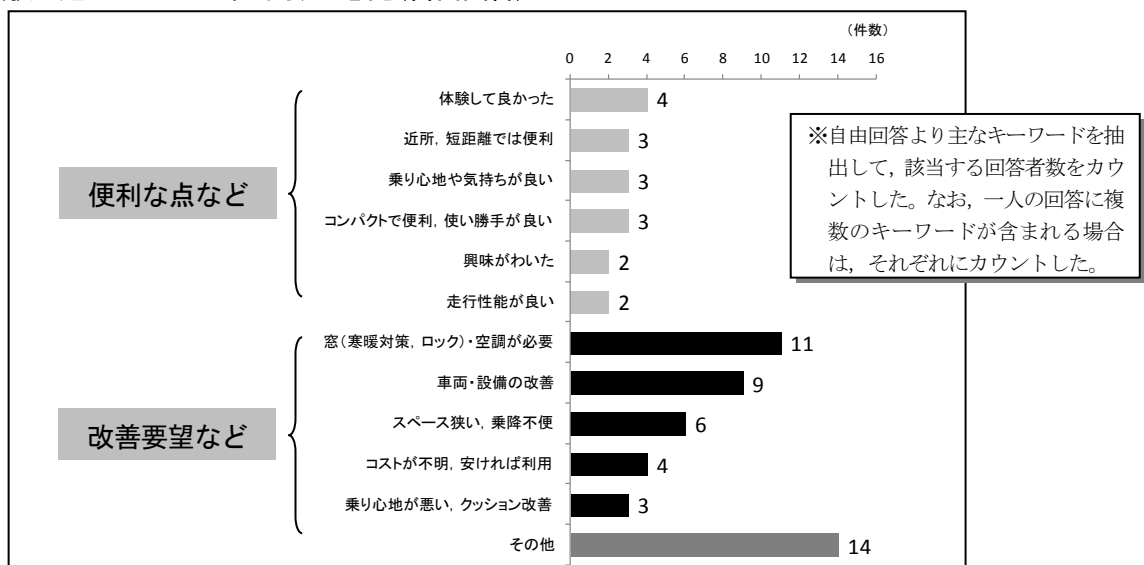
- アストラムラインやJRの駅に駐車，充電設備を設けて家から駅までの移動（通勤）に利用する人と，その人が使わない時間に高齢者や若いママ達が利用できるような共同利用の仕方を考えるといいと思う。
- あらゆる所（場所）に充電システムがあり活用できれば誠に便利。小回りがきくので町内の狭い道が活用でき大変便利。
- レンタカーとして使えるようにする。コインを入れたら使えるような簡単な方法を採用。30万円から50万円くらいで発売。
- 後部座席の乗り降りがしやすく，乗り心地を良くし，荷物置き場が確保されれば，利用効果が上がると思う。
- 各家に数台の自家用車が存在する当地区，また，通院・買い物，アストラムの駅を徒歩にて10分圏内であれば難しいのではないのでしょうか？車両自体，地域に合った物でないと導入は考えられない。自家用車として保有するとしても，共同利用でも充電設備の拡大が必要で各家庭とともに病院・ショッピングセンター等の目的地にも設置される必要があります。山陰には道の駅にも設置されていました。
- 交通の拠点となるアストラムラインの駅等は，このモビリティ専用の駐車場を設ける必要を感じた。カーシェアも良いと思う（乗り捨てシステムが拡大する）。充電の場所に，スーパー・コンビニ・公的機関にも設置が必要と感じた。
- 今現在住んでいる所は，あまり必要とは思っていない。なぜなら半径300m以内に病院・ショッピングセンター・量販店等があるため。非常に私のところは条件が揃っている。しかし，山間地及び過疎地等では，とても良いアイデアと思います。なぜなら，ガソリンが必要ないから。電気で充電で走るのには魅力があります。
- 朝夕の通勤時間帯をはずして利用すれば，問題なく利用出来そうです。冬季は寒いのでドアに簡易的な風除けを付けないと利用が少なくなるのでは。
- ・移動範囲を自由にとすること。・駅前等の公共交通機関とつなぐため配慮すること。（専用駐車場設置）・よく利用する施設（スーパー，専用駐車場，銀行，郵便局）にも専用駐車場を置き充電設備を設置すること。（充電は有料でも可）・車両の共同利用は賛成。（乗り捨てが出来ると良いのだが）
- 集会所（充電場所）に1台か2台あって誰でも自由に使えればいい。
- 当面，希望者に短期間貸与し，ボランティアに活用してもらう。（町内会単位で地区内ボランティアに活用⇒質問2（1）回答①②④⑤）。（各地区に活用案をまかせる）
- ①スマホで予約②100m以内に駐車③後に高齢者がゆったり乗れる④荷物の保管場所がない（戸がオープンなので）⑤キーをICカード・充電もICカード

ウ)下城ハイツ

- 1)居住性の向上。2)カギがないので買い物など1ヶ所しか行けない。
- 町内会の業務で特に町内会長は，会合，区役所への打合せ，地域行事等，外出することが多く有り，交通費（ガソリン代）も大変である。モビリティが町内なれば，大変役に立つ。我が町内は急な坂道が多くあり役立つ。各家庭への見守り巡回に役立つ。

- 少しクッションが悪いと思います。専用クッションを付ければ別ですが。
- 免許がないと乗れないのでは。今では自分の車があるので必要ない。
- 1. セカンドカーとして活用できると思う（近くはモビリティを活用，遠くへ行く場合は普通車を利用）。
2. 雨天と寒い時には乗れないので将来は窓を設ける等の改造が必要。3. 近所・グループ等で購入する。町内会で購入する。
- バスの運行のない団地や交通不便な団地での活用。
- 近場の外出で気軽に乗れば活用が進むと思います。

(4)実証実験や超小型モビリティに関する意見(自由回答)



【具体的な意見】

ア)若葉台

- 子供が小さい家庭には、使い勝手が悪いと思います。駐車スペースも軽ほどはいかないけど無いと置けないし、窓がないので冬は乗れない。
- 乗り心地の面では、やはり少し振動が響くので慣れるまでは疲れる気がした。短い距離だと良いと思う。
- 季節的に良かったので、窓がなくても気持ち良いと思った。冬は利用しないかも。うちは、6歳以下の子供が2人いて、買い物にも使えなかったし、利用する事は少ないと思う。今後、チャイルドシートが付けられたりすれば、子育て世代の外出も便利になると思う。
- 超小型モビリティは、予想以上にコンパクトで便利でした。後ろの座席の乗り降りが難しい様でした。シートが倒れれば荷物出し入れも楽になると思います。
- 実験実施期間が、とても寒い時で、乗ると風邪をひいてしまいそうでした。期間中、使用するチャンスは1度あったのですが（伴小学校まで読み語りに行っているの朝8時～8時30分の間に一人で行くので便利かなと思いました）朝とても寒くて、とても乗る勇気がありませんでした。使用できなかったもう一つの理由は、2才の孫の子守りをしていて、動くには一緒の方が便利ということです。超小型モビリティは一人乗り、しかも大人のみで、使用のチャンスがせばめられました。試乗した時は、便利かなと思いましたが、期待外れ。高齢になれば、この寒さはきついと思います。

- 体験期間、乗車範囲の制限などにより、なかなか活用する機会が少なかった。もう少し乗る機会が持てれば良かった。
- 乗ってみて楽しさがあるが、操作性、快適さなどがもう少しアップし乗用車レベルにいかないまでも、それに近いレベルにならないと質問2（1）に挙がる効果が出てこないと思います。車両自体の改善を期待したいと思います。
- 指定の範囲での利用にはやや不満。さらに時間の制約があったのは利用する機会をさらに無くした。個人所有するには導入費用によるが、2台目3台目に良いと思う。
- バイクと思うと窓が無いのはしょうがないと思いますが、車と思うと不便さはたくさんありました。ただ、バス停までの送迎や近場の買い物にはすごくいいと思います。1家に1台持てるようになるといいと思う。そのためには、1台いくらになるかが重要。今、エコカーはたくさんありますが、とにかく高くて購入できない現実があります。

イ)伴東地区

- 珍しい超小型モビリティに乗せていただきよい経験ができました。ありがとうございました。ただやはり、空調設備がないのは真夏や真冬には利用が難しいと思いました。また、車両の共同利用というのも実際にはいろいろと難しいところがあると思います。
- 慣れでしょうが、ライトとウィンカーが国産と反対だったのが少々困った。運転中のクッションはあまり良くなかった。季節的に問題なかったが、エアコンは必要だと思う。その為には窓がいる。
- 極めて良い企画でした。電気自動車の良さが分かった。使いたいと思うようになった。
- 今回利用して、大変良い体験をさせてもらいました。ありがとうございました。
- 超小型であっても、加速・馬力とも予想以上であった。後部席は狭く、乗降は不便である。後部席を改良し、買い物程度の荷物が積載できる程度の囲いがあれば便利である。車両価格が不明ですが、今の軽自動車以下ぐらいでなければ購入しないのではなかろうか。
- 音が静かで歩いている人（お年寄りの方）が気づかず、クラクションを鳴らすと音が大きすぎてビックリされたので困った。買い物をしても乗せる所がなかった。（二人で利用の時）
- 超小型であり、どの様な大きさの車でも電気自動車はGSがない地区では大変有効で有ると思います。三次方面で実験されている軽トラックの方が使い易いと思います。今回の車体が外車であり、高齢者には難しい。窓がなく寒い為、これからの季節は不向きである。理想としては4名定員で後部に荷台のあるWキャブがあればと思います。
- 1. 気付き点①室内に電灯が無いので夜（暗い時）は運転キーを差し込み等、難しい。②サイドブレーキのトラブル（開錠が）が再三発生した。③急な坂道での車が停滞した時の運転が難しい④窓が無い、ドアの施錠が無いのも日本の風土に合わないと思った。2. 良い点①あちこちにPRを行ったが、団地の方も高齢化しており皆様興味を持たれ必要性を感じておられた。また、中山間部の方は、購入しても良いとの意見もでる人もおられた。皆さん注目され、興味を持たれた方も多く、値段を聞かれることが多かった。②見た目より運転すると安全性（見はらしが良い）も良く乗り心地も大変に良い。今、軽自動車であり、将来的には購入を考えても良いと思った。③大変楽しい気持ちにしてもらった。感謝です。

- 後部座席が狭すぎるので2人乗ると、すごく苦しい。車体が軽く、小さいので便利だが事故をすると助からない。
- 2人乗りとしては後部が狭く窮屈でした。家内に後部座席に座らせましたが、「嫌です」と感想をもらいました。先日、トヨタに見学に行きましたら、雨の日でも良く、寒くても大丈夫な様に窓がついていました。
- 後席乗り降りの際、天井に手スリ等あれば楽に動けると思う。夜露に合った時、フロントガラス外側はワイパーで拭き取れるが、内側も結露するのでオープン是不便（冬季凍ったら視界確保できないのでは？）。オープンなので風をきると、体感温度は低く寒さを覚える（11/23 走行時、同乗者）。駐車スペースが狭小ですむのは便利。サイドブレーキの操作性は再考を要す。オープンなので駐車時間が長いと、悪さをされないかと心配になる。
- 使用地域の制限が実用に不便で、乗り換えて自動車で買い物に行った。
- ・窓があつて鍵をかけられるようにすること（雨対策と盗難対策）・荷物を置く場所（フックだけでもよい）が欲しい（今のままでは買い物には使いづらい）・道路交通法では軽車両扱いだが、バイク扱いの方が望ましい・軽車両扱いでは個人での購入は伸びないと思う・今後費用についても明確に提示して欲しい
①共同利用の場合の利用料金②個人購入の場合の費用（購入費、車庫証明、税金、充電費用、車検、バッテリーの耐用年数 etc.）
- 夜間は寒かったです。特に後席の人が。
- 子供の乗車に関心を持つ人が多かった。町中を走る事で広報、見守り、活性化に活用すればと思いました。
- 実際に乗るとイメージしやすいので良かった。

ウ)下城ハイツ

- 1)暑さ、寒さに対応するようにしないと活用が進まないのでは？ 2)窓が無いので盗難の恐れがあり、買い物なども1ヶ所しか行けない。3)後部座席、足を広げないと座れない。女性では難しい。 4)スピードを出す居住性が悪い。
- モビリティ車のバック運転がルームミラーがなく、後部に窓がない為、安全確認が不十分である。後部はアクリル等で見える様になれば、もう少し楽になりそうである。バイクと思えば、寒さもあきらめがつく。
- 遠方には行けませんが、近隣なら充分です。
- 1.登坂力・加速・速度は予想した以上であった。2.真後ろは確認出来ないので、工夫が欲しい（事故防止の観点から）。
- 車の運転をするのは、普通車の運転をするのと変わらないので、高齢の方には問題があると思う。